

経営のヒント19 上司の役目とは！

「やらせる」ためには「納得」させることが大事

「やらなければならないことをやらせる」

「人を活かしてこそリーダーなり」

管理職にある人は部下に対して

「やってもらいたいことをやってもらう」のではなく

「やらなければならないことをやらせる」姿勢でなければならない。

「やらなければならないことをやらせる」にはどうすればいいのか？

そのキーワードは「納得」である。

…「けっして「説得」ではない。

それは、たいてい部下が嫌がることや、進んでやりたくない仕事だからである。

嫌がることを無理に押し付ければ反発を買って、逆に部下に対して威厳の無いへりくだった頼み方をしたら、甘く見て動こうとしない。どちらにしても部下は期待通りの仕事をやってくれない。

そのためには、どうしたらいいのか？

部下に「自分がやるべき仕事の意味」を確認し、納得してうえで、

「言われたからやる」のではなく、「自らやる」ことが大切。

自分がこれからやる仕事が、

会社の為、世の中の為、家族や自分自身のためになる。

とよるこんでやれると思ったとき、初めて「自らやる」

とい気持ちになれるものだ。

会社とは、

「仕事を通して、人生の喜怒哀楽を共有しあう同志的共有体」

と定義したいですね。

経営のヒント

人を活かしてこそ、リーダーである！

そのためには？ どうすればいいのか？

- 1, 部下に、やらなければならないことをやらせること
- 2, 自分がやるべき仕事の意味を納得させる。(説明ではない、本人に自覚させる)
- 3, 仕事を通して喜怒哀楽を共有しあう同志となれる環境を創る。

〜〜自分の仕事だと思えたときから、仕事が楽しくなり、自己成長が始まる！〜〜